



▲なくてはならない、頼りになる存在!

クラインガルテン四万十（以下ガルテン）の管理チームの一員として4年目を迎える「マキねえ」こと松田真紀さんをご紹介します。



今月の
OB、OGがいつでも帰ってこられる
ガルテンであり続けたい!

長野県木曽村で育ち、高校卒業と同時に美容師を目指して大阪へ出たそうです。しかし、働き始めて間もなく、手荒れに悩まされ、早々に美容師を断念せざるを得なくなりました。「でも、都会にはいたかったので、そのまま大阪で転職しました。」とご本人。帰郷せずにずっと大阪で働いていたことで一旦帰郷。その後30歳になる前に再び大阪に戻り、市内で飲食店を始めました。これが後々、四万十町へとつながっていく縁となります。

松田さんは、お店のお客さんだった建築デザイン関係の方とご結婚!そして、夫君の転職にともない高知市に。高知市内で暮らしていたある日のこと、ガルテンの利用者だった夫君のいところから「一回遊びにこないか?」とお誘いがあったそうです。誘われるままにガルテンに遊びに行ったら松田さんご夫妻は、ゆったりと農的暮らしを楽しむガルテンの利用者さんたちの様子に惹かれました。特に、都会育ちの夫君が興味津々となり、ガルテンの利用者になることを決意。松田さん自身も「山の中で育ったということもあって、全く抵抗はなかったですよ」と、夫君の提案に賛成!! 2017年、松田夫妻のガルテンライフがスタートしたのでした。

高知市と四万十町を行ったり来たりしながら、ガルテンでの農的暮らしを楽しんでいたところ、管理チームの一人が退職することになり、後任として白羽の矢が立ちました。管理責任者の方によると「利用者さんである松田さんに負担をかけてしまうことになりはしないか」という葛藤があったそうですが、利用者の経験があるというメリットは絶大で、今ではなくてはならない存在に。「OB、OGがいつでも帰ってこられるガルテンであり続けたい」という思いで管理運営に携わっています。



まつだ まき
松田 真紀さん



民生委員・児童委員の改選 委嘱状の交付式を行いました

民生委員・児童委員は、だれもが安心して暮らせるように、地域の相談役として厚生労働大臣から委嘱されるボランティアです。

担当の区域において、高齢者等の安否確認や見守り、子どもたちへの声かけや、生活上の心配事など様々な相談に応じています。

任期満了に伴う改選により、92 人の方が委嘱され、令和4年12月6日に窪川四万十会館において委嘱状の交付式を行いました。

任期は令和4年12月1日から3年間となります。



四万十消防団に消防車両 日本損害保険協会から寄贈されました

令和4年12月18日、四万十消防団志和分団へ（一社）日本損害保険協会から小型動力ポンプ付軽積載車が寄贈されました。

平成10年に配備した小型動力ポンプ付軽積載車が24年を経過し、老朽化のため今年度更新予定となっていました。寄贈を受ける運びとなり、当初から更新予定であった四万十消防団志和分団への配備となりました。

志和分団管内は海岸部に面しており近い将来危惧されている南海トラフ大地震等の大規模災害が想定され、小型動力ポンプ付軽積載車が配備されることにより、活動の機動性がより強化されました。

おかもと ひな
岡本 陽菜ちゃん
令和4年6月生まれ

古市町

思いやりのある元気な子に育ってね。
(幸、晴菜より)

四万十町HP ▶ 分類で探す ▶ その他 ▶
『四万十町通信すくすくコーナー募集!!』

[お問い合わせ先]
企画課広報情報係 ☎ 22-3124